

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床鍼灸理論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	前期	教室名	2校舎503教室
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
(1) 鍼灸施術者としての基本的知識(鍼術・灸術)の理解 (2) 鍼灸施術者としての応用知識(刺激量・適応性・禁忌)の理解 (3) 鍼灸師刺激の治効理論の理解						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
はりきゅう理論(第3版)、図解鍼灸臨床手技マニュアル、プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントや教科書を熟読し理解をすすめる。後期の総合演習を含めて理解していくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
施術者としての基礎知識および治効理論を理解する重要な科目です。生理学・解剖学で基礎医学を学び、病理学・一般臨床医学・鍼灸診断学・鍼灸治療学を理解し、その上で鍼灸がなぜ効果があるのかを科学的に理解し、疾患や症例に適した治療(治療しない選択も含む)を的確に選択するためには、この鍼灸理論を十分に理解することが求められます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師として生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事	
		各コマにおける授業予定	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識1			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師として生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事	
		各コマにおける授業予定	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識2			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師として生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事	
		各コマにおける授業予定	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識3			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事	
		各コマにおける授業予定	第9章 鍼灸治効機序1			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事	
		各コマにおける授業予定	第9章 鍼灸治効機序2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	第9章 鍼灸治効機序3		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	第9章 鍼灸治効機序4		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点1		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸施術に対する生体の反応を理解する。	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事
		各コマにおける授業予定	第10章 鍼灸治効機序と臨床の接点2		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	2章～4章の演習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	5章～6章の演習		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	7章の演習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	8章の演習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	9章の演習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸理論の基礎から臨床まで理解できている	配布プリント 教科書	
		各コマにおける授業予定	まとめ		